

学校教育目標

いきいき なかよく
りそうに向かって
考動する子

学校だより

京都市立稲荷小学校
校長 大野 利和
平成 30 年 3 月

平成 29 年度 後期学校評価報告

稲荷小学校では、年 2 回保護者の皆様にもご協力いただき、「子どもたちの生活をよりよいものにするための自己評価」の調査を行いました。今年度の 2 回目は、1 月に実施いたしました。本当にありがとうございました。

学校教育目標に照らし合わせ、アンケートの内容を「生活に関すること」「学習に関すること」の二つの視点で調査をしました。また、「児童」「保護者」「教職員」それぞれの立場での自己評価という形でアンケートを行いました。

その結果をもとに現状を把握し、今後の学校の取組に活かしていく視点で分析・考察をしましたので報告いたします。

アンケート結果集計

子どもたちの生活を よりよいものに 自らを振り返り、 互いに高め合う		1 そう思う			2 だいたいそう思う			3 あまりそう思わない			4 そう思わない			
		児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	児童	保護者	教職員	
生活面	1	自分から進んで挨拶ができています。	54%	44%	67%	37%	51%	33%	6%	0%	0%	3%	0%	0%
	2	先生に相談する。	40%	41%	33%	32%	53%	67%	22%	0%	0%	7%	0%	0%
	3	自分のよいところと言える。	34%	28%	11%	35%	64%	78%	22%	0%	11%	10%	0%	0%
	4	友達を大切にし、仲良くしている。	68%	45%	14%	29%	55%	71%	3%	5%	14%	0%	0%	0%
	5	忘れ物なく、学習の準備ができています。	25%	26%	13%	52%	55%	75%	19%	6%	13%	4%	2%	0%
	6	係や掃除・給食当番の仕事を最後までできています。	74%	18%	13%	21%	43%	63%	5%	8%	25%	1%	3%	0%
	7	はきものをそろえている。	61%	20%	25%	27%	43%	38%	8%	0%	38%	5%	3%	0%
学習面	8	授業がよくわかる。	65%	32%	25%	28%	53%	63%	5%	17%	13%	3%	0%	0%
	9	授業中、話を最後までしっかり聞く。	43%	38%	50%	41%	50%	38%	12%	36%	13%	3%	0%	0%
	10	授業中、自分から進んで発表している。	39%	17%	38%	32%	50%	50%	15%	34%	13%	13%	3%	0%
	11	家庭学習や宿題を進んでしている。	51%	40%	43%	32%	48%	43%	13%	15%	14%	5%	1%	0%
	12	本をよく読んでいる。	50%	36%	0%	23%	36%	57%	14%	12%	43%	14%	2%	0%
	13	稲荷地域のことが好きである。	64%	10%	0%	23%	40%	43%	10%	29%	57%	3%	4%	0%

アンケート集計より

「児童」「保護者」「教職員」のそれぞれの自己評価という形でのアンケート調査を実施して 3 年目になりました。このアンケートの仕方も定着してきており、今回のアンケートの中にも、それぞれが自分自身を振り返り、自分自身の取組や子どもとのかかわり方を見直すきっかけになり、子どもへのかかわる視点が分かって良かったなど感想が書かれていました。

生活面について

1 進んで挨拶ができる

挨拶については、学校も保護者も子どもたちに働きかけをしています。

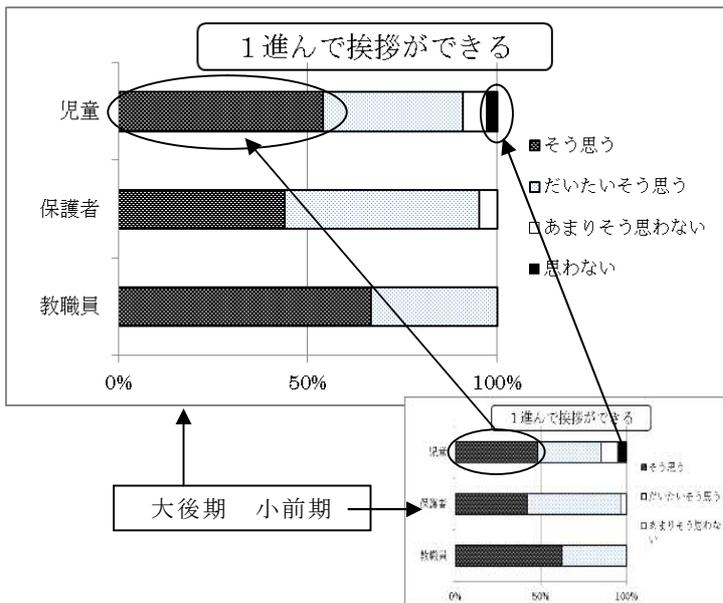
そのことで、多くの子どもたちが進んで挨拶をするようになってきています。

「そう思う」は50%をこえ、「だいたいそう思う」を合わせると90%をこえています。

また、「思わない」も3%と減ってきています。

学校と保護者が同じスタンスで協力しこれからも取組を進めていきたいと思えます。

三者比較グラフ



2 先生に相談する

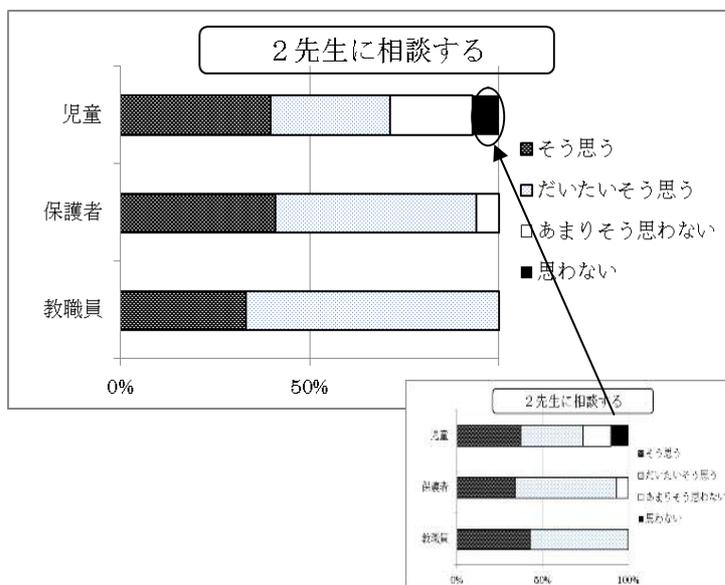
「困ったことがあれば先生に相談する」でも、学校も保護者も子どもたちに働きかけをしていました。

そのことで、少しずつですが先生に相談する児童が増えてきています。

「思わない」と答えた子どもも7%と前期よりも少し減ってきています。

しかし、「あまりそう思わない」を入れると30%近くの相談できにくいと答えています。

子どもたちが、学校に相談できるよう子どもたちの小さな変化に目配りをするともに教職員からも声掛けをし、これからも子どもとの関わりを深めていきたいと考えています。



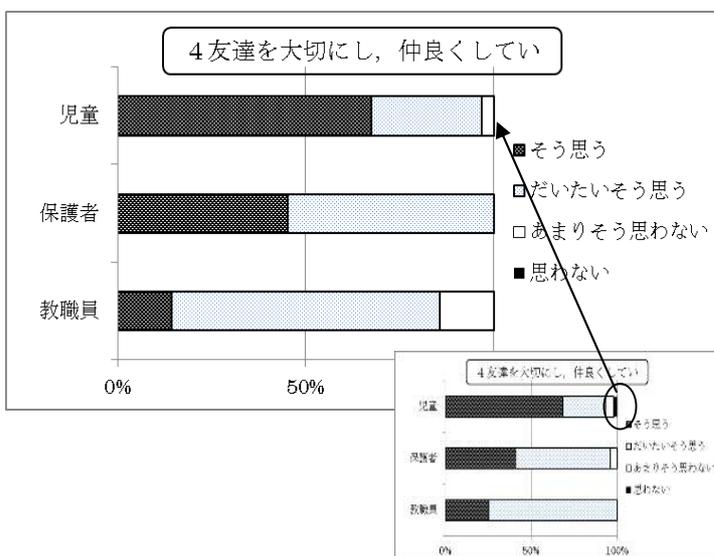
4 友達を大切にし、仲良くしている

後期もほとんどの子どもたちが友達と仲良くしていると答えています。

「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせると97%の子どもたちが友達と仲良くしていると答えています。

また、「思わない」と答えた子どもはなくなりました。

毎日の学校生活の中で友達の「いいところ見つけ」をしたり、「ぴかぴかさん見つけ」をしたりして、お互いの良さに気づくようにこれからも取組を進めていきます。



* 5 学習の準備ができている

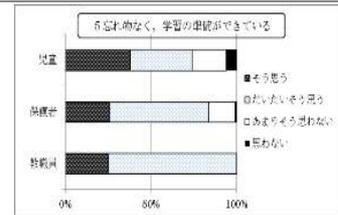
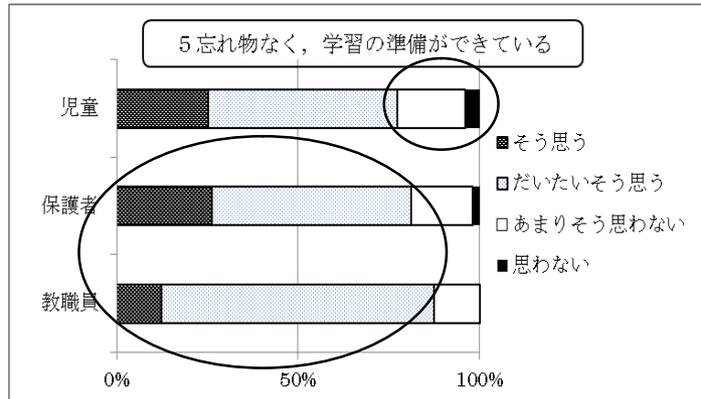
学習の準備については、前期と比べ三者とも大きな違いは、見られませんでした。「あまり思わない」「思わない」と答えた割合が前期と比べ少し減ったものの、23%の子どもが忘れ物をしていると答えています。毎日の生活の中で、3割弱ぐらいの子どもたちは、忘れ物をしていることがうかがえます。

ご家庭では、予定表で時間割や持ち物の確認をしていただくなど子どもたちが自分でできるように声掛けをお願いします。

学校では、予定表や連絡帳を活用し子どもたちが自分で準備ができるように取り組んでいきます。

学校と家庭が連携し、学習の準備を整えて、忘れ物がなくなるよう取り組んでいきたいと思います。

三者比較グラフ



学習面について

8 授業がよくわかる

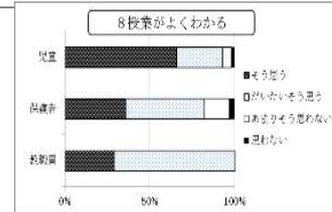
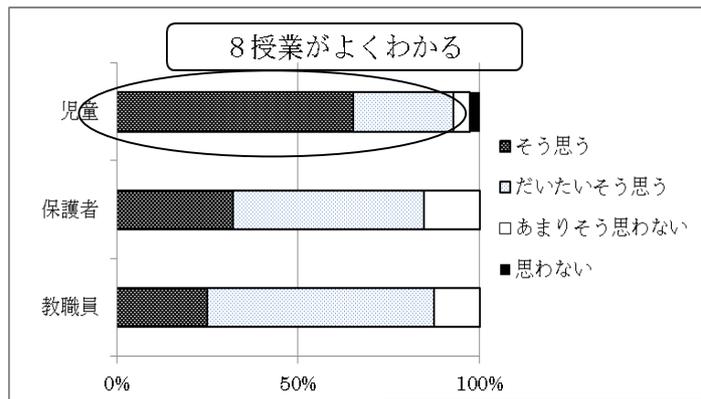
「授業がよくわかる」かについては、「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせると93%の子どもたちがよくわかると答えています。

また、80%以上の家庭でも授業の話を聞いてもらっていました。

子どもたちが、意欲的積極的に授業に参加し、確かな学力につながるようICTの活用や授業の振り返りを大切に、興味関心が高まるよう授業改善に努めます。

ご家庭でも進んで授業に参加するよう声掛けをよろしくお願いします。

8 授業がよくわかる

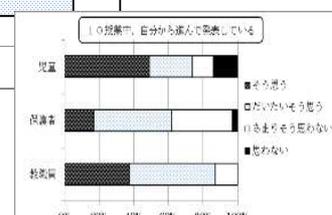
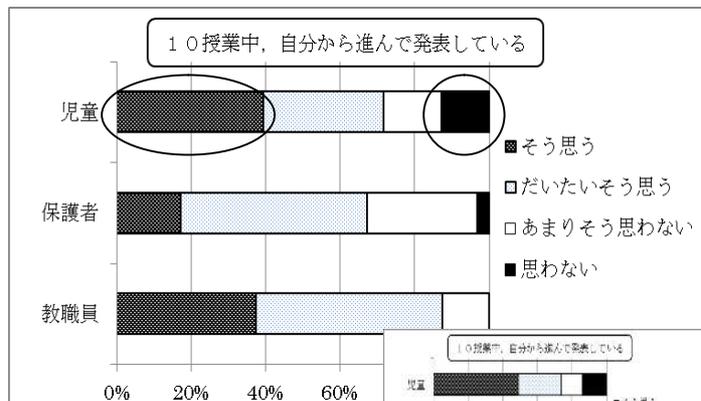


* 10 授業中、発表している

発表に関しては、前期と後期で大きな違いはありませんでしたが、3割弱の子どもたちが、発表できていないと答えていました。「そう思わない」と答えた子どもが、13%おり発表については、する子・しない子の2極化の傾向が少し見られます。

自分の考えをもち、自分の意見を伝えられるようペアトークやグループ討議など授業の中に取り入れています。今後もこの取組を進め、自分の意見を発表できるよう取り組んでいきます。

10 授業中、自分から進んで発表している

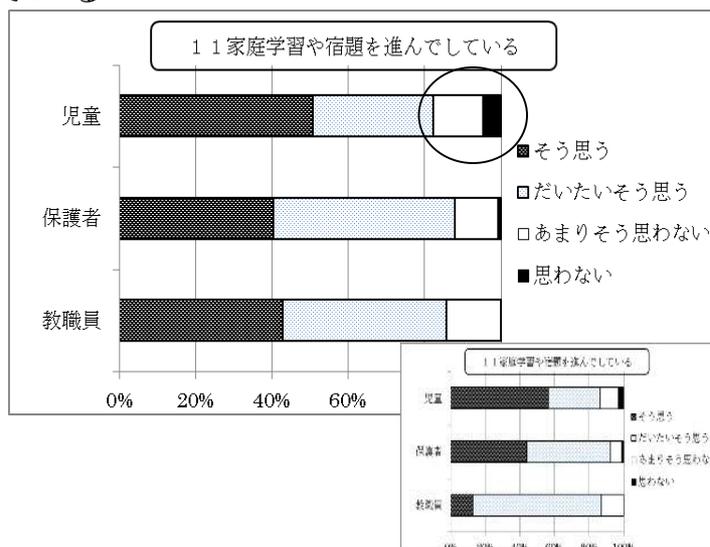


1 1 家庭学習や宿題を進んでしている

家庭学習もほとんどの子どもが「そう思う」「だいたいそう思う」と回答しています。ただ、20%弱の子どもたちが「あまりそう思わない」「思わない」と答えています。

学年が上がるにつれて家庭での学習時間も大切になってきます。全国学力学習状況調査の中でも家庭の学習時間に大きな差が見られます。

宿題だけでなく自主勉強や予習復習など家庭での学習の計画を立て、時間を決めて取り組めるように学校との連携を大切にしていきたいと考えています。



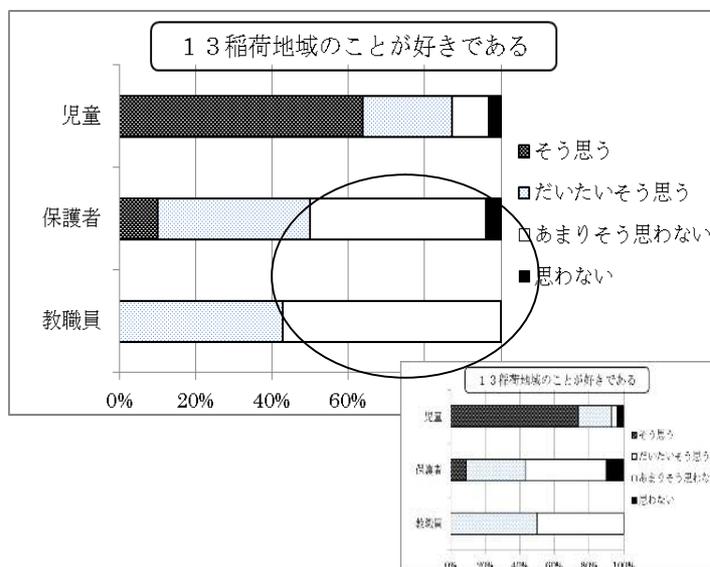
* 1 3 稲荷地域が好き

「稲荷地域が好き」には、90%近くの子どもの「そう思う」「だいたいそう思う」と答えていました。子どもたちは、地域のことを好きだと感じています。

一方大人は、稲荷の良さを子どもたちに伝えきれていない部分もうかがえました。

学校では、総合的な学習や生活科の中で地域の良さを調べたりインタビューしたりする活動を通して、稲荷地域の良さに気づき地域に対する誇りをもってほしいと願っています。

好きと答えた気持ちが実感を伴ったものに育っていくよう家庭とも連携して取り組んでいきたいと思ひます。



* 今後の課題

◎おもいを伝える力を育てる

子どもたちに自分のおもいを伝える力を育てることは大切だと考えています。そのためには、「聞く力」や「聞くときの態度」の育成も大切です。そのためには、授業の中で「うなずきながら聞く」同じところ違うところを「考えながら聞く」など聞く力も育てていきたいと考えています。また、授業の中で自分の意見を発表する機会を増やし、子どもたちが自信を持って発表できるようにしていきたいと考えています。

そのために、グループ討議やペアトークを取り入れたり、ICTを活用しプレゼンテーションをしたりすることで伝える力を育てる取組を今後も進めていきます。また、ご家庭でもおもいを伝えることの大切さを話し合ってみてください。

◎自分や友達の良さを認める

学校では、ぴかぴかさん見つけやいいところ見つけ等友達の良いところやうれしかったことなどを終わりの会で発表しています。このような取組を通して、自分の良さや友達の良さに気づき、自分自身に自信をもってほしいと願っています。これからも様々な活動の中で成功体験を増やすことで自信をもち、自尊感情を高めていきたいと考えています。

皆様から頂いた学校評価をもとにこれからの学校運営に活かしていきます。そして、学校と保護者のさらなる連携を深めて取り組んでいきたいと考えております。アンケートにご協力いただきありがとうございました。